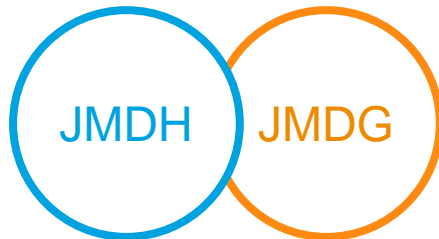


日本医療統計





JMDH : Japan Medical Data Index (Hospital)

JMDG : Japan Medical Data Index (G.P.)

日本医療統計は、医師の処方診断実態を把握することができる処方診断データです。1970年に99床以下の医療施設に勤務する医師を対象とした開業医版（JMDG）、1978年に100床以上の医療施設に勤務する医師を対象とした病院版（JMDH）のサービス開始以来、医薬品の研究開発およびマーケティング戦略策定に不可欠なデータとして、多くの企業様にご活用頂いています。

日本全国の臨床現場で活躍される医師に対して実施するアンケート調査を基に作成され、薬剤の処方診断状況（疾病別・診療科別・薬効別の患者数や投薬状況、併発疾病や併用薬剤情報、医師がその薬剤に期待した効果など）の把握に適しています。病院版と開業医版に区分し、半年単位でご提供いたします。

前臨床段階のプライマリー・リサーチから導入期の市販後調査、そして成熟期・衰退期におけるライン・エクステンションに至るまで、医療用医薬品のライフサイクルマネジメントに欠かせないデータです。

提供形態	 統計書籍	更新頻度	半年
エリア	全国	データ種別	 処方診断

活用事例

医師の診療記録に基づき疾病と投与薬剤が結び付いたデータを活用し分析頂くことにより、保険適応の可否に左右されない真の処方意向の評価をサポートいたします。

- 疾病別や薬効別の処方状況からプライマリー・リサーチの調査対象とする市場を特定し、各市場における処方傾向から仮説の精度を向上
- 投与量やその傾向から、新規用法・用量の追加や変更などライン・エクステンション計画を作成

- 併発疾病状況やその傾向から、新たにターゲットとなる診療科を特定し、ターゲット市場の調査計画を作成
- 適応外処方の有無やその傾向から、想定外の処方に対するリスクの早期排除に向けた対応策の構築、または、新規適応拡大に向けた調査計画の作成
- 疾病別の処方製品やその構成比、また、使用パターン（性別、年齢、単剤、併用など）からポジショニングを評価し、製品戦略を構築・修正
- 併用薬剤状況やその傾向から、Practical Usage に基づく他剤との相乗効果や安全性を考慮したプロモーションメッセージを策定